

月例会は委員の勤務校等の諸施設で開催、学習・研究報告の他、活動審議・情報交換を行い、「日本史サマーセミナー」、夏季・冬季の巡検を実施しています。学習会は毎回レポーターを設定、各自の研究成果は研究大会などで発表します。今年度の共同研究テーマは継続の「日本近現代史をどう教えるか」で、新科目の「歴史総合」を見据えた実教出版『新日本史A』の単元を使用し、従来からのテーマ「神奈川の教材化」をふまえ、多様な視点と最新の研究成果を取り入れ、「すぐに授業実践に使える」教材研究を意図しています。日本史研究及び授業研究に関心のある方は、是非ともご参加下さい。

月例会 2018（平成30）年度実施 会場校など（研究報告・学習会内容）

・4月：瀬谷（「国境の画定」、年間の計画検討）・5月：瀬谷（「ヴェルサイユとレニングラード」・大東亜共栄圏）・6月：鎌倉学園、世界史委員会合同（「東アジアの変革」、東京書籍日本史A「東アジア世界の変動と日本」）・8月：湘南（サマーセミナー予備発表「神々の明治維新」・「高校日本史の沖縄戦後史」）・9月：秦野曾屋（「東アジアの変革」）・10月：相原（「平和運動の展開」・「都市と農村」）・11月：鎌倉歴史文化交流館展示見学、鎌倉学園（「自由民権期の社会」）・12月：大和東（「ゆれ動く幕末の政治と社会」・「55年体制と安保」）・1月：瀬谷（「新たな生活スタイルと社会への問い」）・3月：横浜商業（研究予備発表「『国民国家論』再考」）

#### 研究発表

・歴史分科会研究発表会（3月8日）「『国民国家論』再考」 桐生 海正（秦野曾屋高校）

日本史サマーセミナー ※大学教員・歴史教育者による日本近代史の授業と研究、詳細は別項参照。

8月18～20日、昨年同様3日間の日程、以下の内容にて鎌倉学園で実施しました。

共通テーマ：「明治150年をどう教えるか」

1日目（8/18） テーマ：「女性からみる近現代」

・「山川菊栄の思想と行動－戦前・戦中・戦後－」樋浦敬子（山川菊栄記念会）

・「主婦論争」を知っていますか－高度経済成長のなかの女性と家族－ 成田龍一（日本女子大学）、「村の学校と“女の子”、たち－近代の学校教育を視る眼－」大串潤児（信州大学）

2日目（8/19） テーマ：「明治維新150年」

・「神々の明治維新」石間健豊（瀬谷）

・「地域から考える自由民権運動－神奈川県を起点として－」石居人也（一橋大学）

・「近現代における明治維新の評価を考える－赤報隊像の変遷を題材に－」岩立将史（徳川記念財団）

3日目（8/20） テーマ：「沖縄と東アジア」

・「高校日本史の沖縄戦後史」長島一浩（瀬谷）

・「明治維新と琉球国」後田多敦（神奈川大学）

・「沖縄戦から学ぶこと」川満昭広（沖縄平和ネットワーク）

#### 巡検

夏季（8月10日）東京都墨田区周辺、両国相撲博物館・深川江戸資料館・江東区中川船番所資料館・吉良邸裏門跡・勝海舟生誕地など見学。冬季（1月4日）浦賀方面、「浦賀道」関連史跡・旧海軍工廠など海軍建物・長善寺・三浦按針夫妻の墓・坂本龍子の墓・西叶神社・常福寺など見学。

会場ご提供の各校など、お世話になりました関係各位に厚く御礼申し上げます。